

地 理 (G e o g r a p h y)	1 年 ・ 通 年 ・ 2 単 位 ・ 必 修 電 気 工 学 科 担 当 竹 原 信 也 (前 期) 上 島 智 史 (後 期)	
〔準学士課程(本科1－5年) 学習教育目標〕 (1)		
〔講義の目的〕 「所変われば品変わる」という故事があるように、地域によって習慣・宗教・言語などの社会環境は違いがみられ、それを取りまく自然環境も一様ではない。地理の授業では、世界の諸地域でみられる「地域性」を自然・社会の両側面から理解するとともに、各地域が抱える諸問題について考える力を身につけることを目的とする。その上で、今年度はCOC+における地域理解教育の一環として奈良県の地形・気候や文化について主題学習を行い、情報を整理した上で発表を行う。グループによる学習を通じて地域へ理解を深めるとともに地域課題の解決について考えていきたい。		
〔講義の概要〕 地理の学習で重要になるのは、地図と統計資料を活用できる能力である。地図・統計資料の種類と読み方を学ぶとともに、実際に世界各地の情報に触れることで、地域の諸事象を考察する。そのため、教科書だけでなく、必要に応じてプリントを配布する。また、思考力を高めるために、グループワークや視聴覚教材を活用する。		
〔履修上の留意点〕 講義を良く聞くこと。教科書の内容だけでなく、日々のニュースや体験など、身近なことから世界との関わりを見ていくことで効果的な学習ができるようにする。そのため各自が、常に講義内容の把握・理解に心がけ、積極的に参加する姿勢が大切である。 地図帳は毎回持参すること。地形図・配布資料の学習では色鉛筆を使用することがある。		
〔到達目標〕 前期中間試験：地理情報と地図、世界の地形、世界の気候 前期末試験：世界の諸地域①東南アジア ②西アジア ③ヨーロッパ 後期中間試験：世界の諸地域④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥東アジア⑦アフリカ 学年末試験：奈良県の地理的特徴や文化における基礎的事柄の理解、 奈良県の地理的特徴や文化についてグループで学習し、レポートを作成する。		
〔評価方法〕 定期試験（前期中間・前期末・後期中間）…60% 授業への取り組み（授業態度・提出物・グループ学習での取り組み）…25% 課題レポート（定期試験と同等に評価する）…15%		
〔教科書〕 ・『新詳地理B』帝国書院 ・『標準高等地図－地図でよむ現代社会』帝国書院 〔補助教材〕 ・1:25,000 地形図「大和郡山」国土地理院発行 ・配布プリント  ◎地形図はできるだけ折り曲げないで、最初の講義に持参すること（折り方を学習します）		
〔関連科目・学習指針〕 本教科は歴史（2年・3年）・政治経済（3年）等の科目に関連する。		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価※
第1週	ガイダンス	講義の目的、概要、評価方法	
第2週	地理情報と地図	地図の種類と活用	
第3週		地形図の利用 （「大和郡山」2万5000分の1地形図を使用）	
第4週		統計地図の作成、読み取り	
第5週	世界の地形	世界の大地形	
第6週		世界の小地形（河川地形）	
第7週	世界の気候	気候と人々の生活（大気の大循環）	
第8週		世界の気候区分（ケッペンの気候区分）	
第9週	世界の諸地域①東南アジア	熱帯地域の自然と生活（世界の熱帯林）	
第10週		東南アジアの産業と経済（プランテーション・モノカルチャー）	
第11週	世界の諸地域②西アジア	乾燥地域の自然と生活	
第12週		西アジアの産業と経済（オイルマネーと脱モノカルチャー）	
第13週	世界の諸地域③ヨーロッパ	温帯地域の自然と生活　村落と農村	
第14週		ヨーロッパの産業と経済（工業の立地と変化）	
第15週	都市と村落	都市と村落　都市形態・世界の都市問題	
第16週	世界の諸地域④北アメリカ	冷帯地域の自然と生活	
第17週		北アメリカの産業と経済（サンベルト・エレクトロニクス産業）	
第18週	世界の諸地域⑤南アメリカ	高山地域の自然と生活	
第19週		南アメリカの産業と経済（工業の発達過程と世界の工業地域）	
第20週	世界の諸地域⑥東アジア	中国の自然と生活（広大な国土と多様な自然環境）	
第21週		東アジアの奇跡（日本・中国・韓国の高度経済成長）	
第22週	世界の諸地域⑦アフリカ	アフリカの自然と生活（砂漠化）	
第23週		アフリカの歴史と産業（南アフリカの経済成長）	
第24週	世界の諸地域⑧日本	日本の地形・気候	
第25週		日本の産業・文化	
第26週	地域主題学習	これまで学習した事柄をもとに、奈良についてグループで 主題学習を行う。情報を整理し、レポートを作成する。	
第27週			
第28週			
第29週			
第30週			
学年末試験・テスト返却・学力補充期間			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)